

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した取組

1 地方創生推進タイプ

地方版総合戦略に位置付けられた、地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的な事業を、複数年度(概ね5箇年度以内)にわたり安定的・継続的に支援する交付金

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等		
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値			
1	国内外のスタートアップベンチャーが集うイノベーション・エコシステム拠点の形成 【計画期間: R5~R7】	令和7年4月、CICが新福ビルに、「CICイノベーションキャンパス」を開設するにあたり、これを核に福岡の産学官が一体となって、アジアをターゲットにした国内外のスタートアップ・ベンチャーが集積・交流し、イノベーションを創出するグローバル拠点を形成する。	47,890	指標①	本県のベンチャー企業への投資額(暦年)	150	億円	182	目標値を達成しており、スタートアップ・ベンチャーが持続的に成長するグローバル拠点の形成に寄与するため、引き続き事業を実施する。	
				指標②	1億円以上の投資を受けた企業数	36.0	社	39.0		
				指標③	福岡拠点開設を決めた海外企業数	10.0	件	6.0		海外企業が拠点開設を即決するための情報提供の機会が十分ではなかったため、目標値を下回った。スタートアップ・ベンチャーが持続的に成長するグローバル拠点の形成に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標④	米国ボストンに有望人材を派遣する件数	0	件	5		R5年度は準備期間であったが、前倒しで派遣を行っており、目標値を達成している。スタートアップ・ベンチャーが持続的に成長するグローバル拠点の形成に寄与するため、引き続き事業を実施する。
2	関連産業との相互連携強化による「選ばれる福岡県の農林水産業」の実現 【計画期間: R5~R7】	物流業界や流通業界、食品業界など様々な関連産業との相互連携を深め、Win-Winの関係性を構築・発展することにより、本県の農林水産業が今後も持続的に販売力や生産力を維持・拡大するため、「サプライチェーンが一体となり付加価値の高い県産農林水産物を流通・販売するモデルを構築」、「効率的な農林水産物流通の確立により将来に持続する物流ルートを確保」、「食品産業等における原材料調達の国内回帰の動きを捉えたニーズに対応した販売促進活動により、業界相互の連携を強化」などを旨とする。	79,412	指標①	大都市圏への県産青果物流通量(東京都中央卸売市場における県産青果物取扱量)	21,577	トン	18,791	気象災害や気候変動の影響等により野菜、果実の生産量が減少したため、目標値を下回った。本県の農林水産業が今後も持続的に販売力や生産力を維持・拡大するため、引き続き事業を実施する。	
				指標②	新たなアサリ流通体制「福岡モデル」による取扱量	50	トン	0		秋からの出荷を予定していたが、猛暑の影響でアサリ資源が減少し、出荷できなかったため、目標値を下回った。本県の農林水産業が今後も持続的に販売力や生産力を維持・拡大するため、引き続き事業を実施する。
				指標③	福岡フェア等における県産食材の取扱高	344.5	百万円	465		目標値を達成しており、本県の農林水産業が今後も持続的に販売力や生産力を維持・拡大に寄与するため、引き続き事業を実施する。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
3	近未来MaaS福岡モデル創出事業 【計画期間：R5～R7】	福岡県でのMaaSの導入は一部の地域に限定されており、一元的なデータの把握・管理や地域間・事業者間・官民での有機的な連携ができていない。そのため、MaaSを始めとする交通DXの取組を推進するとともに、一連の取組を通じて得られる膨大な移動関連データを集約・分析するプラットフォームや、分析結果を地域の行政機関や交通事業者が一体となって共有及び利用する仕組みを構築する。公共交通政策の立案(EBPM)や、交通ネットワークの最適化等を図り、地域の実情に応じた持続可能で多様かつ質の高い地域公共交通を実現する。	45,706	指標①	北九州・筑豊・筑後地域における乗合バス利用者数	65,061	千人/年	53,622	運転手不足等による地方バス路線の減便、廃止等の影響を受けたため、目標値を下回っている。 地域公共交通の維持・確保に寄与するため、引き続き事業を実施する。 目標値を達成しており、地域公共交通の維持・確保に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	県内市町村における新たな輸送サービスの導入件数	22	件	23	
				指標③	MaaSアプリ利用者数	498,355	人	576,180	
				指標④	データ利活用実施市町村数(累計)	5	市町村	6	
4	福岡バイオコミュニティ形成プロジェクト 【計画期間：R3～R7】	バイオ戦略におけるバイオコミュニティ形成の推進により、地域の価値を高め、企業が成長できる環境を整えるとともに、イノベーションや投資等を促進するバイオエコシステムを確立し、県内のバイオ企業等のポテンシャルを活かした新たな取組みを着実に進め、福岡県の強みを活かせる市場領域を中心としたバイオ市場全体の拡大を図り、国内バイオ産業を牽引する国内有数のバイオ産業拠点を構築する。	89,900	指標①	バイオ分野の一人あたり給与	3,416,589	円	3,665,468	目標値を達成しており、国内有数のバイオ産業拠点構築に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	県内バイオ関連企業数	250	社	250	
				指標③	実証事業による製品化販売額	125,000,000	円	1,677,320,000	
				指標④	福岡バイオコミュニティ推進会議新規会員数	40	会員	69	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
5	魅力ある地域づくりによる移住・定住促進事業 【計画期間：R3～R5】	既成住宅地等において地域のまちづくり実践事業を行い、「住宅市街地再生の身近な成功モデル」を創出することや、住宅地から商店街などへのアクセス環境の改善、地域分散型エネルギーの普及さらには地域中小企業支援策など多様な施策を組み合わせ、総合的な観点からまちづくり事業を実施	35,128	指標①	東京圏への転出超過数	-5,360	人	-4,785	目標値を達成しており、各市町村と連携した施策を展開したことで、移住・定住促進に寄与した。
				指標②	「ふくおかよかとこ移住相談センター」を利用した県外からの移住者数(累計)	1,088	人	1,790	
				指標③	ふくおかファンクラブ会員数	3,000	人	18,178	
6	気候変動に対応できるふくおか農林水産業の経営基盤の確立 【計画期間：R3～R5】	生産性革命による農林漁業の成長産業化の取組のうち、気候変動に対応した経営基盤を確立するため、経済と環境の好循環を生み出す生産対策を中心とした取組のうち、農作業の効率化や県産木材利用拡大等の取組を促進。	90,677	指標①	農業法人数	1,113	法人	1,112	目標値を概ね達成しており、気候変動に対応した経営基盤の確立に寄与するため、引き続き取り組む。
				指標②	「実りつくし」の作付面積	2,350	ha	330	中食・外食向けの需要は回復傾向だったが、年間を通じた安定需要ではなく、令和5年度の作付計画を作成する時期において、低下傾向だったため、目標値を下回った。気候変動に対応した経営基盤の確立に寄与するため、引き続き取り組む。
				指標③	ハマグリ漁獲量	9.25	t	10.65	目標値を達成しており、気候変動に対応した経営基盤の確立に寄与した。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
7	主に東アジアを中心としたインバウンド観光客等の長期滞在と消費拡大に向けた観光振興 【計画期間：R3～R5】	インバウンド観光客をコロナ以前の水準に戻すため、まずは東アジアを中心とした取組みを重点的に行うとともに、併せて国内旅行者の誘客拡大・周遊促進のため、ファッションコンテンツを活用した福岡の魅力発信、外国人観光客の誘客促進や観光環境の整備事業を実施。	28,355	指標①	県内延べ宿泊者数(外国人)	500.0	万人泊/年	504	目標値を達成しており、インバウンド観光客等の長期滞在と消費拡大に寄与した。
				指標②	外国人入国者数	360	万人	280	コロナ禍の影響もあり、目標値を下回ったが、入国制限が緩和されたR4年10月以降、急速に回復している。インバウンド観光客等の長期滞在と消費拡大に寄与するため、引き続き取り組む。
				指標③	県内延べ宿泊者数(日本人)	1,500.0	万人泊/年	1,609	目標値を達成しており、インバウンド観光客等の長期滞在と消費拡大に寄与した。
				指標④	外国人旅行者を対象とした「九州」の認知度	33.0	%	24.0	時期をとらえた効果的なPRが出来なかったため、目標値を下回った。インバウンド観光客等の長期滞在と消費拡大に寄与するため、引き続き取り組む。
8	福岡版「地域アプローチによる働き方改革」実践促進事業～「福岡で働く、長く元気に暮らす、子どもを産み育てる」を実現！！～ 【計画期間：R3～R5】	若者、女性、障がい者、外国人人材等、働き手にとって魅力ある職場づくりの実践を県内4地域において、それぞれの実情に合わせて推進することや、多様な人材がその能力を発揮し活躍できるよう、地域での人材育成を強化すること、結婚・出産・子育てを応援し、希望をかなえるための取組を実践することなど、これらの取組を一体的に実施	87,904	指標①	働き方改革に取り組む企業として宣言・実行した企業数	1,374	企業数	1,263	目標値を下回ったが、事業スキームの見直しにより、R5年度の企業数はR3～R4年度と比較して増加している。「福岡で働く、長く元気に暮らす、子どもを産み育てる」ことに寄与するため、引き続き取り組む。
				指標②	若者の結婚・出産・子育てを応援する結婚応援宣言企業数	2,560	企業数	2,650	目標値を達成しており、「福岡で働く、長く元気に暮らす、子どもを産み育てる」ことに寄与した。
				指標③	障がい者雇用のためのテレワーク制度構築開始企業数	167	企業数	178	
				指標④	企業の外国人材受け入れに関する相談件数	930	件	827	コロナ禍の影響により、目標値を下回ったが、5類移行に伴い、R5年度の後半から相談件数が増加傾向となった。「福岡で働く、長く元気に暮らす、子どもを産み育てる」ことに寄与するため、引き続き取り組む。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
9	ポスト・ウィズコロナ対策を踏まえた魅力あるふくおか農林水産業の構築 【計画期間：R3～R5】	新型コロナウイルス感染症の拡大により新たに生じた課題や社会変容に対応するため、新たな雇用を創出できる魅力あるふくおか農林水産業を構築する、需要の変化に配慮した消費拡大等の促進や県民参加型の農林水産業支援体制を構築する取組を実施。	64,877	指標①	福岡フェア等における県産食材の取扱高	328	百万円	465	目標値を達成しており、新たな雇用を創出できる魅力あるふくおか農林水産業の構築に寄与した。
				指標②	6次産業化の取組による新商品数	152	商品	171	
				指標③	ふくおか地産地消応援ファミリー登録数	51,560	世帯	55,510	
10	国内観光客をターゲットとした誘客の強化とポスト・ウィズコロナ時代に対応した新たな観光地域づくりによる旅行消費拡大 【計画期間：R4～R6】	観光誘客を強力に推進していくため、国内観光客を中心とした誘客に重点的に取り組む。また、地域の観光資源や魅力ある体験型観光をつないだ広域ルートを設定し、新たな観光エリアを創出することで、県内各地域への来訪を促進し、旅行消費の拡大を図る	78,312	指標①	延べ宿泊者数(日本人)	1,255	万人泊/年	1,609	目標値を達成しており、国内観光客の誘客強化新たな観光地域づくりによる旅行消費拡大に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	旅行消費単価(日本人)	41,133	円	54,442	
				指標③	リピーター率	61.3	%	68.1	
11	自然と健康になるまちづくり(ポストコロナにおける新たなふくおか健康づくり県民運動) 【計画期間：R4～R6】	高齢化が進行する中、県民一人ひとりが生涯にわたり元気で健康に暮らしていくため、スポーツ振興や高齢者支援、魅力ある職場づくり、産業振興等と健康づくりを一体的に推進し、自然と健康になる環境づくりと地域経済の活性化を図る。	78,629	指標①	成人のスポーツ実施率(週1回以上運動またはスポーツを実施している者の割合) (「ふくおか健康ポイントアプリ」アンケート)	63.3	%	65.34	目標値を達成しており、自然と健康になる環境づくりに寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	「ふくおか健康ポイントアプリ」利用者の平均歩数	8,007	歩	6,595	アプリリニューアルの新規登録キャンペーンに伴い、運動の頻度が少ない利用者が増加したため、目標を下回った。自然と健康になる環境づくりに寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標③	特定健診実施率	64.23	%	53.10	市町村国保、被用者保険被扶養者の実施率が低いと、目標を下回ったと考えられる。自然と健康になる環境づくりに寄与するため、引き続き事業を実施する。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
12	福岡自慢の農林水産物を活用した 地域活性化 【計画期間：R4～R6】	消費者や実需者が求める県産農林水産物を安定的に供給する体制を構築し、本県農林水産物の競争力を向上させることで、農林水産業を稼げる夢のある産業へと転換させ、親元就農のみならず県外からのI・Jターン就業者を確保する。また、本県の強みであるロボット関連企業と連携することで、AI、IoT、ロボット技術といった成長産業を振興する。更に、本県の魅力である食と地域の文化等を同時に発信することで食文化の継承や観光業を振興するとともに、飲食業を活性化することにより、農林水産業と関連産業がともに発展する好循環をつくり、雇用の場を拡充する。	76,347	指標①	県産農林水産物の輸出額	49.4	億円/年	56.7	目標値を達成しており、農林水産業の発展及び雇用の場の拡充に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	デジタルデータを活用した経営を行う経営体数	525	経営体	1,003	
				指標③	国外加工したマダいの取扱店舗数	60	店舗	259	
13	霊峰英彦山を核とした地域ブランドの構築事業 【計画期間：R4～R6】	過疎化・高齢化が進行している東峰村・添田町において、地域ブランディングを通じた地域への継続的な人の流れやにぎわいを創出し、誇りをもって住み続けられる持続可能な地域づくりを目指すため、霊峰英彦山を活用した映画・ドラマロケーション誘致、BRT開通を契機とした地域PRイベントの実施・サイトの構築・観光周遊ルートの構築やツアー販売等を実施する。また、都市住民と共同して、日田彦山線沿線の景観づくり事業を実施する。	25,171	指標①	地域の賑わい拠点(勤遊舎ひこさん駅、筑前岩屋駅)の年間利用者数(延べ)	1,207	千人	298	英彦山神宮の工事等による登山客減、大雨の影響による観光客減により、目標値を下回っている。地域ブランディングを通じた持続可能な地域づくりに寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	地域情報発信サイトへのアクセス件数(延べ)	500,000	件	4,420	
				指標③	添田町・東峰村の15～34歳の転出超過数(人)	108	人	95	
				指標④	添田町・東峰村のドラマ・映画のロケーション誘致数(件)	1	件	1	
14	デジタル技術を活用した中小企業の生産性向上支援事業 【計画期間：R4～R6】	コロナ禍を契機に顕在化したデジタル化の遅れに対し、高度な専門のアドバイザーが、それぞれの中小企業の段階に応じ、デジタル技術を活用した伴走支援を行う。併せて、デジタル設備導入補助を行うことにより生産性を向上させ、中小企業の経営力、競争力の強化を図る。また、中小企業におけるデジタル化推進を促す講座、支援人材の育成等の人材育成を実施。	67,019	指標①	デジタル化現地支援終了後、「企業毎の個別指標」に関して支援前よりも生産性が向上した企業数	234	社	200	目標値を下回ったが、新型コロナの5類移行後、企業訪問数及び指導回数が増加しているため、中小企業の経営力、競争力の強化に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	中小企業におけるDXの実践割合	21	%	23	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
15	「起業は福岡で、活躍は世界で。」 地域産業をリードするフクオカベン チャー創出事業 【計画期間：R4～R6】	VC、金融機関、支援団体、大学教 育機関、行政が一体となって、起 業家がチャレンジできる環境をつくり 上げることで、優れた技術とアイデ アを用い、事業拡大を目指す県内 ベンチャー企業の成長ステージに 応じた支援に取り組む。 小規模な事業規模にとどまらない 投資額の大規模化を狙い、アー リー期の入り口としてまずは1億円 以上の資金調達を、さらなるステ ップとしてIPOの実現を目指し、世界 で活躍するベンチャー企業を輩出し ていく。	29,938	指標①	1億円以上の資金調達 を行ったベンチャー企 業数	44	社	53	目標値を達成しており、世界で活躍するベン チャー企業の輩出に寄与するため、引き 続き事業を実施する。
				指標②	人材バンクを活用した 就業・副案件数	35	件	22	目標値を下回ったが、企業のニーズの把 握から候補者の選定、面談までの仕組が 軌道に乗ったため、件数は増加傾向となっ ている。 世界で活躍するベンチャー企業の輩出に 寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標③	ベンチャーと市町村と の協業事業の件数	16	件	20	目標値を達成しており、世界で活躍するベン チャー企業の輩出に寄与するため、引き 続き事業を実施する。
				指標④	中小企業の海外展開 成約件数	95	件	96	
16	福岡県グリーンイノベーション戦略 -世界から選ばれる福岡県を目指す 産業政策パッケージ- 【計画期間：R4～R6】	本県には企業や研究拠点の集積な どによる産学官連携の強固な素地 が構築されており、「グリーン水素」 や「次世代自動車」などの分野にお いて、新技術の開発や事業転換、 新規参入を更に促進することによ り、世界をリードする産業や製品を 創出していくポテンシャルを有して いる。世界的な脱炭素化の潮流を チャンスととらえ、経済と環境の好 循環を生み出す成長戦略の担い手 として、世界で活躍する中小企業を 創出するとともに、本県が国のグ リーン成長戦略を加速させる先進 拠点となることを目指す。	38,941	指標①	成長産業分野への新 規参画企業数(水素)	114	社	119	目標値を達成しており、巨大市場の形成 が見込まれる水素関連産業への参入促進 に寄与するため、引き続き事業を実施す る。
				指標②	県の支援により新たな 成長産業分野における 新製品・新サービスの 開発件数(水素)	40	件	40	
				指標③	新たに電動化等の次世 代技術に取り組む自動 車関連企業数(自動 車)	39	社・団体	35	北部九州での電動車生産が本格化してお らず、サプライヤーの参入も進んでいない ため、目標を下回っている。 世界で活躍する中小企業の創出に寄与す るため、引き続き事業を実施する。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
17	福岡県のポテンシャルを生かした、 デジタル社会を支える産業の拠点 形成事業 【計画期間：R4～R6】	デジタル社会を支える産業分野で ある「半導体」「ブロックチェーン」分 野において、産学官連携による人 材育成、企業支援の仕組みを活か し、地域のイノベーションを支える人 材の定着や、魅力ある製品・サービ スを生み出す企業の集積により、魅 力的で稼ぐ力を有する「しごと」の創 出を目指す。	34,372	指標①	半導体、ブロックチェー ン分野への新規参画企 業数	76	社	233	目標値を達成しており、魅力的で稼ぐ力を 有する「しごと」の創出に寄与するため、引 き続き事業を実施する。
				指標②	県の支援による半導 体、ブロックチェーン分 野における新製品・新 サービスの開発件数	28	件	19	新製品・新サービスの開発には長期の開 発期間が必要であるため、目標を下回っ ている。 魅力的で稼ぐ力を有する「しごと」の創出 に寄与するため、引き続き事業を実施す る。
18	福岡県プロフェッショナル人材戦略 拠点事業 【計画期間：R5～R9】	県内中堅・中小企業がもつプロ フェッショナル人材のニーズを具体 化し、複数の民間人材ビジネス事 業者との連携により、企業と大都市 圏などの技術者をはじめとするプロ フェッショナル人材とのマッチングを 支援。	23,032	指標①	企業からの相談件数	393	件	475	目標値を達成しており、中小企業の人材 確保及び「ひと」と「しごと」の好循環の創 出に寄与するため、引き続き事業を実施 する。
				指標②	副業・兼業での成約件 数	75	件	75	
				指標③	新規企業の成約件数	38	件	39	
				指標④	デジタル人材の成約件 数	16	件	28	
合計			1,021,610						

2 地方創生拠点整備タイプ

地方版総合戦略に位置付けられた、地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的な事業に必要な施設の新設・改修を支援する交付金

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
1	家具試作支援ラボおよび家具評価支援ラボの整備による県内家具製造業の生産性向上支援【実施期間：H30】	工業技術センターインテリア研究所(大川市)に、家具製造業者が個々で行うには困難な家具の試作・評価が行える高度かつ総合的な「家具師試作支援ラボ」と「家具評価支援ラボ」を整備。	78,589	指標①	インテリア研究所を活用して企業が製品化した売上	95,000	千円	56,850	コロナ禍で新製品の開発に期間を要し、販売機会が減少したため目標値を下回った。 付加価値の高い製品開発ができる活力ある企業の育成に寄与するため、引き続き取り組む。 目標値を達成しており、今後も付加価値の高い製品開発ができる活力ある企業の育成に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	インテリア研究所を活用して企業が製品化した件数	6	件	2	
				指標③	付加価値の高い家具を開発する上で、家具試作ラボおよび家具評価支援ラボに設置した機器を利用した件数	40	件	80	
2	気候変動に対応する麦類・大豆新品種開発のためのスマート育種拠点整備計画【実施期間：H30】	農林業総合試験場(筑紫野市)に、気候変動に対応する麦類、大豆の新品種開発や栽培管理技術開発が行える、環境制御施設を整備。	59,132	指標①	施設を利用して開発する県育成大豆の単位面積当たり収量	200	kg/10a	202	目標値を達成しており、今後も新たな品種や技術開発により、農林業の生産性・所得向上、経営安定に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	施設を利用して開発する県育成大豆の作付け面積	4,000	ha	4,366	
				指標③	施設を利用して開発する品種・技術数	3	件	3	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
3	ゲノム解析技術を活用した次世代イチジク品種開発のための施設整備計画【実施期間：H30】	農林業総合試験場豊前分場(行橋市)に、イチジクの新品種開発のため、種から幼苗までの生育を推進する機器、育苗期間を短縮化する環境制御システム、果実の品質を均一に保つ栽培施設を一体的に整備。	12,438	指標①	施設を利用して開発する県育成イチジクの輸出額	3	百万円	0	新たなイチジクの開発に至らず、目標値を下回った。 ブランド化、6次産業化等により、農林漁業者の所得向上に寄与するため、引き続き取り組む。
				指標②	施設を利用して開発する県育成イチジクの作付け面積	3	ha	0	
				指標③	施設を利用して開発する品種・技術数	3	件	3	
4	女性農業者が商品開発技術やマーケティング戦略を習得し生産性を向上させるための施設整備計画【実施期間：H30】	農業大学校(筑紫野市)に、女性農業者や障がい者の技術習得のための加工品の開発・改良ができる拠点施設の整備や、メニュー開発が行える調理室を整備。	49,941	指標①	本校で学んだ女性農業者のうち、新規に起業した件数(累計)	24	件	12	起業までの準備期間が異なるため、目標値を下回った。 女性農業者が活躍できる農業の実現に寄与するため、引き続き起業支援を推進していく。
				指標②	本校で学んだ障がい者のうち、農家等に雇用された人数(累計)	63	人	16	訓練後、就農までに一定の期間を要するため、目標値を下回った。 障がい者等が活躍できる農業の実現に寄与するため、引き続き体験機会の提供を推進していく。
				指標③	本校での農産物、加工品等の年間販売増加額	9,546	千円	11,442	目標値を達成しており、今後も女性や障がい者等が活躍できる農業の実現に寄与するため取り組んでいく。
5	海藻養殖業の新規着業を支援し漁業収益性を向上させるための施設整備計画【実施期間：H30】	水産海洋技術センター(福岡市)に、海藻の「元ダネ」の培養保存、養殖に必要な「タネ」の生産・育成技術を開発・普及するための、屋内培養施設を整備。	37,010	指標①	本施設で生産されたタネを使用している組織におけるアカモク生産額	10.2	百万円	10.7	目標値を達成しており、今後も新たな養殖漁業への導入や経営の多様化により、漁家経営の安定に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	本施設を利用してアカモクの新規増養殖に着手する組織数	6	組織	6	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
6	漁業者が実施するアサリ増殖活動を支援し漁業収益性を向上させるための施設整備計画【実施期間：H30】	水産海洋技術センター豊前海研究所(豊前市)に、アサリ稚貝の生産能力拡大のため、飼料培養施設、浮遊幼生飼育施設、稚貝生産施設や海水安定取水施設を整備。	35,920	指標①	本施設で生産された稚貝を使用した取組によるアサリ生産量	32	トン	32.2	目標値を達成しており、今後もアサリ漁業の再興により、漁業者や地場産業の生産性・所得向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	本施設で生産された稚貝を使用してアサリ増殖に着手する組織数	6	組織	6	
7	二枚貝の商品価値を向上する技術の導入を支援し漁業収益性を向上させるための施設整備計画【実施期間：H30】	水産海洋技術センター有明海研究所(柳川市)に、二枚貝類消費価値向上に必要な、選別、洗浄、砂抜きが行える海水循環施設を整備。	10,109	指標①	本施設で技術習得した漁業者におけるアサリ販売単価	3,750	円/10kg	19,044	目標値を達成しており、今後も採貝漁業の収益性向上により、漁業者や地場産業の生産性・所得向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	本施設で技術習得し商品価値向上に取り組む漁業者組織数	6	組織	6	
8	福岡ブランド「博多和牛」のブランド力強化と生産性向上のための研究拠点整備計画【実施期間：R1】	農林業総合試験場(筑紫野市)に、飼料摂取量、体重変化、発情周期等の肉用牛の個体情報を管理・制御可能な先進的な研究用肉用牛舎を整備。	121,375	指標①	本事業で整備する施設を利用して開発する技術数	3	個	3	目標値を達成しており、今後もブランド力強化や生産性向上により、生産者の所得向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	博多和牛の出荷頭数	4,000	頭	2,999	肥育農家が素牛の導入頭数を減らしたため、目標値を下回った。ブランド力強化や生産性向上により、生産者の所得向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標③	福岡フェア等における県産食材の取扱高	300	百万円	465	目標値を達成しており、今後もブランド力強化や生産性向上により、生産者の所得向上に寄与するため取り組んでいく。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
9	国際水準の農業生産工程管理(GAP)の実践力を備えた農業者の所得向上を図るための施設整備計画【実施期間:R1】	福岡県農業大学(筑紫野市)に、農産物の生産において発生する剪定枝や植物残さなどの廃棄物を近隣畜産農家から収集した牛糞などと一緒堆肥化し、ほ場への還元を行うための堆肥舎や、堆肥製造後の農作業や実践研修におけるリスク軽減を図るため、衛生管理施設を整備。	33,069	指標①	農業大学校でGAP教育を受けた新規就業者数(農業)	126	人	181	目標値を達成しており、今後もGAPの実践力を備えた農業者の育成により、農業者の所得向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	農業大学校で研修を受けた農業者のGAP認証取得件数	12	件	6	認証取得に数年を要する事業者がいるため、目標値を下回った。 GAPの実践力を備えた農業者の育成により、農業者の所得向上に寄与するため取り組んでいく。
10	気候変動に対応した高品質な「福岡有明のり」の生産技術の拠点化計画【実施期間:R1】	福岡県水産海洋技術センター有明海研究所(柳川市)に、ノリ生産の維持・安定化を図る空調・断熱設備の備わったノリ糸状体培養施設を整備。	1,512	指標①	当施設を参考に糸状体培養施設を導入した漁業者数	4	人	4	目標値を達成しており、今後も高品質なノリの安定供給により、漁業者の所得向上及び新規漁業就業者の確保に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	新規漁業就業者数	369	人	341	R5年度は目標値を達成したが、全体では目標値を下回った。 今後も高品質なノリの安定供給により、漁業者の所得向上及び新規漁業就業者の確保に寄与するため取り組んでいく。
11	種苗生産の安定化を図るための拠点整備計画【実施期間:R1】	福岡県栽培漁業センター(宗像市)に、種苗の安定生産、高度化を図るためのボイラー施設、紫外線照射海水施設などを整備。	53,001	指標①	種苗生残率	14.8	%	15.1	目標値を達成しており、今後も安定的な種苗供給により、漁業者の所得向上及び新規漁業就業者の確保に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	新規就業者数(漁業)	360	人/年	401	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
12	革新的バイオ産業創出のためのインキュベーション施設整備計画【実施期間：R2】	福岡先端バイオイノベーション総合施設(仮称、久留米市)を新たに設置し、最先端バイオ技術による企業の研究開発から製品開発・製造までを一貫して支援。	178,978	指標①	インキュベーション施設を活用して企業が試作もしくは製品化した件数	70	件	70	目標値を達成しており、今後も革新的バイオ産業の創出やベンチャー企業等の一大集積形成を加速させることにより、魅力ある安定した雇用創出に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	オープンラボの利用件数	750	件	1,872	
				指標③	インキュベーション施設の入居率	60	%	100	
13	福岡県農林業総合試験場の研究拠点機能の強化によるきのこ生産者の生産性・所得向上計画【実施期間：R2】	福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター(久留米)に、新たな品種・技術の開発を行うためのIoT技術でモニタリング、制御できる栽培室(培養室及び発生室)、使用済みのきのこ菌床を燃料として熱と電気を発生させる熱電併給の機能と太陽光発電を組み合わせた自家電力供給システムの2つを備えたきのこ実験棟を整備。	130,439	指標①	本事業で整備する施設を利用して開発する品種・技術数	2	個	1	新たな開発に至らず、目標値を下回った。ブランド力強化や生産性向上により、生産者の所得向上に寄与するため取り組んでいく。 目標値を達成しており、今後もブランド力強化や生産性向上により、生産者の所得向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	きのこ類生産性	102	%	114	
				指標③	福岡フェア等における県産食材の取扱高	340	百万円	465	
14	アユ増殖活動支援施設の拠点化のための施設整備計画【実施期間：R2】	福岡県水産海洋技術センター内水面研究所(朝倉市)に、漁業者のアユ増殖活動を支援するためのアユ種苗生産に必要な照度管理や水温管理が可能な施設を整備。	57,878	指標①	本施設で生産されたアユ種苗を用いて、アユ増殖活動に着手する組織数	3	組織	3	目標値を達成しており、今後も漁業者のアユ増殖活動の支援や水産資源の持続的な利用により、漁家経営の安定に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	アユ漁に従事する漁業者の増加人数	12	人	13	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和5年度 目標値	単位	令和5年度 実績値		
15	次世代農業人材の育成及び農業経営者の経営力・収益力向上のための拠点化に向けた施設整備計画【実施期間：R3】	農業大学の既存施設を改修し、就農形態の変化に対応した施設整備を行うほか、農業者向けの研修・交流室の整備を行うことで、農業大学を学生の教育と農業経営者の学び直しを一体的、効率的に行う施設を整備。	45,988	指標①	農業大学卒業生の就農率(3ヶ年平均)	57	%	48	R5年度は目標値を達成したが、全体では目標値を下回った。今後も次世代農業を担う人材の育成と農業者の経営力・収益力向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	リカレント教育受講生の翌年度における経営改善目標達成者割合(3ヶ年平均)	34	%	38	目標値を達成しており、今後も次世代農業を担う人材の育成と農業者の経営力・収益力向上に寄与するため取り組んでいく。
16	果樹新品種開発加速化のための研究拠点整備計画【実施期間：R4】	果樹の新品種開発を加速する施設を整備し、付加価値の高い新品種を迅速に開発、普及することで、生産者の経営基盤を強化することにより、稼げる農業を実現する。整備した施設で県内事業者の開発するスマート農業機器等の実証や改良を行うことで、スマート農業機器等の導入による生産者の生産性向上とIoTやロボット等の成長産業の振興につなげる。	110,273	指標①	施設内栽培果樹販売額	1,087	千円	1,183	目標値を達成しており、今後も果樹生産者の経営基盤の強化やスマート農業機器等の導入により、生産者の生産性向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標②	選抜供試(育苗前選抜)系統数	700	系統	476	種子量を確保できず、目標値を下回った。果樹生産者の経営基盤の強化やスマート農業機器等の導入により、生産者の生産性向上に寄与するため取り組んでいく。
				指標③	県内果樹1戸当たり生産額	585	万円	654	目標値を達成しており、今後も果樹生産者の経営基盤の強化やスマート農業機器等の導入により、生産者の生産性向上に寄与するため取り組んでいく。

3 備考

国の交付金を活用した取組について、県民に周知するため、事業の実施状況や交付金対象経費等を県HPへ掲載。

掲載URL : <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/degidenkoufukin.html>